

2019年4月号 Vol. 59 (2019年4月1日発行)

せんしゆん



千春会
SENSUNKAI

ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.1.1)認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生
しだれ桜の正法寺 (京都市西京区)

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

保育・高齢複合施設 西山天王山 (仮称)

阪急西山天王山駅
西改札口すぐ



完成イメージ

概要

- 1階 保育園
定員 19名
(ゆったりとした保育園です)
- 2階 小規模多機能型居宅介護
登録 29名
訪問リハビリ、訪問介護
- 3階 サテライト型 老健 15床
- 4階 サテライト型 老健 14床
ショートステイ



西山天王山

ニュース

安全祈願祭 開催

「長岡天満宮」にて、関係の方々と法人役員が参列し、無事、安全祈願祭を執り行いました事をご報告申し上げます。



安全を祈願する菊地孝三理事長

工事着工で進行中...



西山天王山駅 西口すぐの現地では着々と工事が進行中です。
安全かつ慎重に万全の体制で進めてまいります。

すでに実施している関連法人の保育施設との連携を取りつつ、しっかりした運営をしております。

トピックス

大阪府吹田市にて合同の新規事業が始まります！

「健都21プロジェクト」に千春会も参画!

吹田市、摂津市にまたがる JR 岸辺駅吹田操車場跡地の再開発として、平成 20 年「吹田操車場跡地まちづくり全体構想」、平成 26 年「健康・医療のまちづくり」基本方針が策定されました。平成 28 年には地区の名称が「北大阪健康医療都市 (愛称: 健都)」に決定され、国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院の移転など、これまでまちづくり事業が進行してきました。

この度、同地にパナソニックが運営するサービス付き高齢者向け住宅の開設が予定され、千春会への協力オファーを受ける形で、進めることとなりました。

当法人は、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリの拠点として在宅支援センター、ならびにデイケアセンターを運営予定としております事を、ご報告させていただきます。

前京都府知事 山田啓三先生(現:京都産業大学学長補佐、法学部教授) 講演会

テーマ：これからの医療・介護・福祉をとりまく情勢について

千春会では、地域の医療・介護・福祉政策の現状を学ぶべく、日々研鑽しております。

今回は、前 京都府知事 山田啓三先生（現：京都産業大学学長補佐、法学部教授）にお越しいただき、京都府知事として4期 16年、府政に邁進して来られたご経験を踏まえ、世界、日本、そしてこれからの地域医療・介護・福祉の現状など、包括的な視野でご講演いただきました。



講演中の 山田啓三先生

冒頭、世界各国の福祉制度の違いや日本の社会保障制度の変革などを含め、日本における高齢化の現状を歴史的背景など交えてご説明いただきました。そして 2025 年の高齢者数がピークを迎えた後は、医療・介護業界に携わる人々は、「何のために地域医療に携わるのか」を改めて思考する時が来ると示されました。今後のヘルスケア産業は介護予防が主眼となり、データ分析、デジタル化、ネットワーク化がさらに進み、すべてのステークホルダーが力を合わせて共生社会を作ることが求められること、社会保障の抑制がなされれば、保障制度の粗悪化が危惧されるなど、社会福祉制度

の変革も含め、これまで経験したことのない状況を迎えると示されました。訪問介護ではこれまで有資格者でなければできなかった介護の形を見直す時期に来ていることなども併せて示され、また、CCRC 等の先進的事例なども交え、大変分かりやすくご説明いただきました。

今後、新たな公共政策を考える時、医療、介護の現場が一体となることが必要であり、まさに千春会が取り組んでいる「医療と介護の融合」「地域包括ケアシステム構築」にこそ、未来があると語られました。

そして、千春会が取り組んでいる「医療と介護の融合」から、さらに行政も含んだ地域資源の融合へと、地域全体が総合的に垣根を越えて一体化していくことが重要であるとして、「千春会がその役割を担うことにより、みんなが安心して暮らせる明るい社会を地域で作っていくことができたなら、大変素晴らしいと思います。」と期待の言葉を頂き、講演を締めくくられました。

これからも、千春会は、様々な学びを活かし、地域の方々とのつながりを大切にしたい、柔軟な医療、介護、福祉サービスの提供で、地域にしっかりと貢献してまいります。

ご報告

新任常勤ドクター 紹介

新任のご挨拶

この度、千春会病院で4月より勤務させていただく事になりました横田 智弘と申します。平成 16 年に近畿大学医学部を卒業し、京都第二赤十字病院にて初期臨床研修を受け、その後は泌尿器科医として京都府立医科大学泌尿器科教室に入局し、京都第二赤十字病院、京都中部総合医療センターなどでの勤務を経て、13 年間、泌尿器科医として臨床に携わってきました。

泌尿器科では、前立腺肥大症、神経因性膀胱、尿路結石症などの良性疾患や、前立腺癌、膀胱癌、腎盂・尿管癌、腎細胞癌などの悪性疾患、そしてウロゼプシスと呼ばれる重症尿路感染症などを中心に診断・治療を行ってきました。

また、へき地の病院への赴任中には、泌尿器科疾患だけでなく心不全や脳梗塞、誤嚥性肺炎、不眠症などの内科的疾患にも携わり、時には内科系を主とするような総合診療外来にも就くこともありました。そのおかげで習得できた内科的知識も駆使しながら、今後は内科を主とする総合診療医として診療に従事させていただきます。

長岡京市をはじめとする乙訓地域で、泌尿器科疾患だけでなく内科的疾患でお困りの方々にとって少しでも助けになることを目指し、診療に携わってまいりますので皆様よろしくご挨拶申し上げます。



横田 智弘 医師

総合診療科

内科	外来担当日	火 曜	水 曜	木 曜	土 曜 (2、4週)
	受付時間	8:00~12:15	17:00~19:45	8:00~12:15 17:00~19:45 (1、3、5週)	8:00~12:15

地域を守る 千春会

— 防犯・防災×トレパトでつながる多世代交流 —

災害医療体制強化に向け 災害時さながらの真剣な訓練実施

2府4県の大規模災害訓練と 「乙訓地域災害医療救護訓練」 2月3日



はなおれ
花折断層を震源とする最大震度7の大地震が発生したという想定で、京都府の災害派遣医療チーム DMAT 派遣などの実働を含めた2府4県の大規模災害訓練が行われました。乙訓地域も甚大な被害が出たとして、千春会病院も電気、水などのライフラインに打撃を受けたという想定で、12機関の訓練が実施されました。

当日は、日曜日にも関わらず医師、看護師をはじめとする法人職員と患者役の民生委員の方々約100名が集まり、臨場感あふれる真剣な訓練を行いました。

今回は、壊滅的な災害の中での地域医療の連携（基幹病院、行政、消防等）、京都府の災害派遣医療チーム DMAT との連携、病院のライフラインが寸断された状況下でのトリアージ（※）など、訓練ということをおぼろげに忘れるほど、臨場感あふれる中身の濃い状況が長時間続きました。患者役の民生委員さんの迫真の演技に、医師も看護師もシナリオを超えた対応がなされていきます。意識を失い倒れる人、「先に見て下さい！」という家族役の叫びの中、落ち着いて病態や状況を見極めながら医師に

よるトリアージがなされ、適切な対応に終始する職員。人員も医療器材も不足する現場、情報が錯綜する本部での対応、各ゾーンでは、できる限りの医療提供をしようとする医療者の必死の対応など、まさに災害時と見まごうばかりの緊迫感の中で繰り広げられました。

様々な気づきも多く、今後の医療対応に活かせる、非常に有意義な訓練となりました。

千春会は、地域の方々を守るべく、常に災害時対応などの意識を深め、実践してまいります。

千春会での訓練の流れ



発生と同時に災害対策本部を立ち上げ、トリアージゾーン(場所)を開設する。電気、水などライフラインが寸断された中、病院に多くの負傷者が来院。

1



トリアージを行い、重症度に応じた適切な処置を行う。本部では情報収集と外部機関との連携が図られる。

2



到着したDMATに院内の破損状況、患者さんの容体について説明する藤原院長。

3

トリアージ（※）について

トリアージ…災害や事故などで同時発生した大量の負傷者に対して、限られた医療資源（医療スタッフ、医療機器、薬品等）で、一人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うために、診療前に患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定することをいいます。（参照「大辞林」）

病態が共通認識できるよう、識別できるトリアージ・タグを使います。



災害時、防災、防犯活動に協力 地域の子ども・若者・高齢者と共々に

今年も防災街コン開催に協力！ 出会いの場を提供
千春会 老健「春風」(デイケアそよ風・交流スペース)にて開催

乙訓地域の市民、行政職員、勤務者、その他団体が協働企画

「防災まちコン」開催

若者が「まちコン」で
楽しく学ぶ「防災」知識

後援:長岡京市

昨年も実施された注目の婚活イベント「防災まちコン」が、今年も老健春風で開催されました。若い方々が介護施設に来る機会はほとんどありませんが、まちコンとなれば話は別。多くの若者が集まり、「美しい場所ですね」「施設ではないみたい」と、高齢者施設であることを忘れ、防災を学びながら楽しく過ごしました。日頃、家庭で防災食を常備するものの、期限切れなど



カップル2組誕生！

交流スペースにて

処分に困ることがあります。そこで、地元のカフェにお願いし、おしゃれな防災食メニューを考案してもらいました。防災ゲームや非常食の定番「乾パン」のチョコランチを男女ペアで作るなど終始、笑顔で盛り上がり、見事、2カップルが成立！

今後も地域の交流の場となるよう、様々な活用していただければ幸いです。



第2回トレパトウォーク 開催！ In 大山崎町

世代をつないで
安全な社会を

トレパトウォークに千春会協賛 (医師派遣、物品提供など)

千春会病院 整形外科 金村 卓 医師がレクチャーを担当

トレパト
ウォークとは

子どもたちと高齢者が一緒に歩きながら、防災、防犯意識を持って危険箇所などをチェックして行くことで、子どもたちを守る、高齢者を守る相互に思いやる気持ちを育みます。



長岡京市で始まった「トレパト」とは、多世代の方々が一緒にトレーニング (ジョギング・ウォーキング) しながらパトロールする活動です。今回は大山崎町の小学生と地域の見守り隊、社会福祉協議会委員、PTAの約 50 名が参加し、向日町警察署からは警察官 2 名が同行、第二大山崎小学校から中学校へ向けての通学路をチェックして歩きました。



講演中の整形・金村先生

今回も千春会が貸し出したビブスで、参加者の一体感と安全が確保されました。さらに千春会病院からは、整形外科の金村 卓医師が、歩行の筋肉や関節についてレクチャーを行いました。スポーツドクターでもある金村先生は『歩活のススメ』という書籍を出しておられ、高齢者向け、子ども達向けの安全な歩き方などをお話しされました。

健康な時も医療を身近に感じてもらえるよう、これからも地域交流を通じて、安全、安心なまちづくりに貢献してまいります。

歳時記
1

医療・介護の知識を伝える 千春会研修センター (長岡京市生涯学習センター) バンピオ7階

— 地域の医療・介護力アップを目指し —
ご家族さま向け 介護教室 (オムツ交換について) 開催

介護されているご家族の方10名が参加された「介護教室」を開催しました。

「オムツ交換について」をテーマに、千春会の研修担当者が選び方、使用方法、サイズやオムツの仕組みなどをわかりやすく説明。透明の人形に青色の水を流して、尿がどのようにオムツに浸透するか、実際に目で見えるため「非常にわかりやすい」と好評でした。その後の交流会でも、オムツ製品に対する疑問や自分



透明の人形を使った説明

のやり方の再確認など様々な意見交換がなされ、悩みや思いを共有された皆さんからは「有意義な研修会でした」「オムツの構造がわかったので使い方がよくわかりました」など喜びの声が上がっていました。

今後は、地域の一般の方々にもご利用いただけるように様々な介護講座を開催予定です。ぜひ、ご参加ください。



オムツ交換について聞き入るご家族

歳時記
2

吹奏楽で可愛くコラボ！ FMおとくにもでも放送されました！
「立命館高校吹奏楽部」の学生さんと「きらら保育園」の園児が見事に合奏

保育・高齢複合施設友岡にて

演奏ありがとうございました

保育・高齢複合施設友岡で、「立命館高等学校吹奏楽部の学生さん」と「きらら保育園の園児」が一緒に曲を合奏しました。子どもたちは優しいお姉さんと一緒に見事な演奏を披露！特養やデイサービスの利用者さんも交えた吹奏楽演奏会が開催されました。子ども達の大好きなアンパンマンの演奏では、学生さんがコントのようなミニ演劇で盛り上げ、笑顔あふれる楽しい空間となりました。



学生さんと園児の見事な演奏

した。TV・CM や懐かしいドラマの主題歌なども盛り込まれ、見事なエンターテイメントに。子ども達も高齢者の方々も高校生たちの輝く力を得て、活力あふれるひと時になりました。FM おとくのにの取材も入り、この演奏がラジオで放送されるなど、小さい子どもたち、若者、高齢者が一つになった素晴らしい演奏会となりました。



笑顔の立命館高校 学生さんたち

編集後記

桜の名所「正法寺(しょうぼうじ)」の見事な枝垂れ桜は、桜越しの青空と京の都を望む絶景を生み出します。境内の千原池の水面と桜の美しさも知る人ぞ知る。千春会も様々な事業が桜の如く、年年歳歳、

見事に花を咲かせていきます。誠実に地域の方々を支える職員の姿に、人知れず咲く癒しの桜花をそっと重ねた陽光の春…。(弘) 表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構
認定済 JCI1355-3号

日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615